

令和元年 11 月 5 日  
リサイクル燃料貯蔵株式会社

## リサイクル燃料備蓄センターの現在の状況について

### 1. 新規制基準適合性審査の状況について

事業変更許可に関する審査の進捗状況は、表 1 の通りとなっています。

施設関係は、残件となっている「設計基準関係の再確認の審査会合での指摘回答」と「津波防護方針等（津波に対する設計方針）」の審査に取り組んでおります。

一方、地震等関係は、平成 30 年 11 月 30 日の審査会合までで一通り確認済みとなりましたが、現在、火山モニタリングに関するデータの最新化と見直しに取り組んでおります。

#### (1) 施設関係

##### ① 「設計基準関係の再確認の審査会合での指摘回答」

- 令和元年 7 月 29 日の審査会合で、「貯蔵建屋がないとした場合の『外部事象による金属キャスクへの影響』と『敷地境界の実効線量』」について、検討状況の説明を行いました。引き続き、現在の検討を充実させるとともに、今後、貯蔵建屋がないとした場合の評価の位置付けについて、審査会合で議論していくこととなりました。
- その後、令和元年 8 月 21 日の審査会合において、原子力規制庁より、貯蔵建屋がなく金属キャスク単体での基本的安全機能の維持に対する評価については、参考として確認することが表明されたため、当社としては、まとめ資料に記載する等の対応をすることとなりました。

##### ② 「津波防護方針等（津波に対する設計方針）」

- 令和元年 7 月 29 日の審査会合で、貯蔵建屋（受入区域）が損傷し、金属キャスクに落下物が衝突した場合においても、動的解析の結果「一次蓋の閉じ込め機能が維持される」ことを説明しましたが、追加の説明や解析評価を行うこととなりました。
- その後、令和元年 8 月 21 日の審査会合において、原子力規制庁より、落下物に対して、金属キャスクへの衝撃を緩和する措置（緩衝材）等を検討することが要請されたため、その検討を進めてきました。
- その検討状況として、令和元年 10 月 21 日の審査会合において、「金属キャスクへの衝撃を緩和する措置」については、輸送用緩衝体を使用するケース等を検討しましたが、成立性が確認できたとしても、許認可取得には実証試験等が必要になるため、「緩衝材等の措置を採用せず、工学式等の保守的評価で閉じ込め機能を評価する方針であること」を説明しました。その結果、審査期間を短くするために、「工学式等の評価ではなく、仮に金属キャスクの蓋が損傷したとして、放射性物質が漏えい

した場合の線量評価を行い、公衆に影響を及ぼすことがないことの検討を行う方がよい」とのコメントがあり、検討を行うこととなりました。

(2) 地震等関係

- ・令和元年6月17日の審査会合で、「火山影響評価に関する再確認」の審査を受けました。その結果、モニタリングデータを最新化し、データに変化があった場合の対応方針等を再検討・整理することとなりました。

引き続き、社内検討を十分に進め、審査に取り組んでまいります。

表1 事業変更許可に関する新規制基準適合審査の進捗状況

審査区分	これまでに確認された項目	今後の確認項目
施設関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>○設計基準関係（「基本的安全機能【臨界防止、遮蔽、閉じ込め、除熱】」「損傷の防止【火災、竜巻等】等」）</li> <li>○耐震設計の基本方針</li> <li>○津波評価方針のうち、津波防護方針等（漂流物による影響、浸水による影響、浸水対策）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【基準規則への適合性】</li> <li>○金属キャスク単体での基本的安全機能の維持</li> <li>【耐津波設計】</li> <li>○貯蔵建屋が損傷しても <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所周辺の実効線量1mSv/年を超えないこと</li> <li>・落下物に対して金属キャスクの密閉機能が維持</li> </ul> </li> </ul>
地震等関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>○火山影響評価</li> <li>○地質・地質構造</li> <li>○地震動、基準地震動、基準地震動の年超過確率、基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価</li> <li>○津波評価方針のうち、仮想的大規模津波の策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【火山（恐山）影響評価】</li> <li>○モニタリングデータの最新化と対応方針等の再整理</li> </ul>

詳細については、当社ホームページから確認することができます。  
(<http://www.rfSCO.co.jp/>)

以上